



☆ 春です！

今年は、なかなか暖かくならないと思っていたら、急に暑いくらいになって、あっという間に桜も散ってしまいましたね。もう少し、花見をゆっくり楽しみたいと思っていたのですが……。

そこで、今回は、桜の花見ではないですが、いろいろな花が楽しめる絵本、春を満喫できる絵本をそろえてみました。外は、花が咲き乱れています。散歩も楽しんでみてくださいね。



花、満開



絵本・さんぽのしるし

五味太郎作・福音館書店

ある日、うさぎさんは、うさぎ印の家を出て、野原へ散歩に出かけます。すると、いろいろな印に出会い、それをたどって行ってみると……。

簡単な印、難しい印、たくさんの印が出てきます。次は何か？ と想像しながら、うさぎさんと一緒に散歩するのも楽しいですよ。

絵本・はるがきた

ジーン・ジオン文、マーガレット・フロイ・クレアム絵、
こみやゆう訳、主婦の友社

カレンダーでも春はすぐそこのはずなのに、町は灰色で、どこにも見つかりません。人々も暗く沈んでいます。その時、一人の男の子がいいことを思いつきます。それは、……。

『どろんこハリー』のコンビによる絵本。春がやってくるワクワク感がいっぱい詰まっています。

絵本・リーサの庭の花まつり

エルサ・ベスコフ作・絵、石井登志子訳、童話館出版

明日は夏至祭りです。リーサは、‘お花と一緒に夏至まつりがたのしめるね。’と言われた言葉を、心の中で繰り返します。そして、今日の夕方は、花たちがなんだかいつもと違って見えます。

春と夏の花が一斉に咲きだす北の国、スウェーデンならではの楽しいお祭りの様子を、美しい絵で綴った絵本です。

絵本・のげしとおひさま

甲斐信枝作、福音館書店

のげしは、カエルやアリ、チョウたちのように、自分の好きなところへ行ってみたいと思います。けれども、のげしは、ただ、そこに立っていることしかできません。そこで、ある日、大好きなお日さまに相談すると……。

鋭い観察による精緻な絵で、のげしの姿を描いた絵本です。



絵本・わたしたちのたねまき

～たねをめぐるいのちたちのおはなし～

K. O. ガルフレイス作、W. A. ハルバリン絵、

梨木香歩訳、のら書店

繰り返し、繰り返し、私たちは、地球という大きな庭にたくさんの種をまいてきました。それは、風であったり、太陽や水であったり、動物であったり、もちろん、人間であったり。命がつながり、自然という庭が作られる様子を綴った、美しい絵本です。



☆ おはなし会のお知らせ

“すばなしの会みみずく”では、すばなしと絵本の読み聞かせを、毎月第3土曜日に行っています。ぜひ、楽しいおはなしを聞きに来てください！

次回は
時間
場所

5月19日(土)、6月16日(土)
午後3:00～3:30
西部図書館 お話し会のへや





☆ 吹っ飛ばせ!ジメジメ

とうとう梅雨入りしました。ジメジメの季節ですが、気分だけは晴れやかにいたいものですね。そこで、今回は、ジメジメ気分を吹っ飛ばすような本をご紹介します。併せて、先月2日に亡くなられた、かこさとしさんの絵本もご紹介して、たくさんの絵本、紙芝居を作ってくられたかこさんのご冥福をお祈りしたいと思います。



楽しい雨の日



絵本・おさんぽ おさんぽ ひろのたかこ作・福音館書店

雨上がり、長ぐつをはいてお散歩。ダンゴムシも、アリも、カタツムリも、カエルもお散歩に来ています。そして、大きな水たまりを発見して……。

子どもの目線に合わせ、足元の景色のみで構成された絵本。普段、小さな子どもたちが、何を見てお散歩しているのか教えてくださいませよ。

絵本・おじさんのかさ 佐野洋子作・絵・講談社

おじさんは、立派なお気に入りの傘を持っていました。どこへ行くにも持っていき、雨が降ってもさしません。けれども、ある日、小さな男の子に傘をさす喜びを教えられて……。

大切な宝物だからこそ大事にしたい。でも、使うことで、その喜びがもっと大きくなることもありますよね。

絵本・あるげつようびのあさ ユリ・シュルヴィッツ作・谷川俊太郎訳・徳間書店

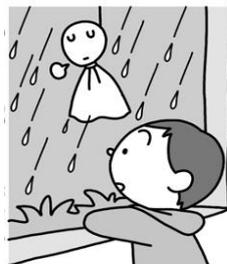
ある月曜日の朝、王様と女王様と王子様が‘ぼく’を訪ねてきますが、留守だったので、また来ると言って帰っていきます。次の日、また次の日と、やってくる人が増えていき、最後は大行列に。

フランス民謡をもとに作られた絵本。文章以上に絵が物語っています。じっくり絵を楽しんでみてください。

絵本・おたまじゃくしの101ちゃん かこさとし作・絵・偕成社

‘いちべえぬま’で生まれた101匹のオタマジャクシたちは、ある日、お母さんガエルと遠足に出かけます。ところが、その途中、101ちゃんが迷子になってしまい……。

親子の愛情の深さに感動を覚える絵本。ハラハラ、ドキドキの展開に、子どもたちは引き込まれていきます。先月亡くなった、かこさとしさんの作品です。



読物・あめあめふれふれもっとふれ シャーリー・モーガン文・エドワード・アーティゾンニ絵・中川千尋訳・のら書店

もう三日も雨が続いています。小さい女の子と男の子の兄弟は、外で遊びたくて仕方ありません。家の中はつまらないのに、外は誰もかれも楽しそうに見えます。もし外で遊べたらどんなに楽しいだろう。子どもたちの大きく膨らむ想像と喜びを生き生きと描いたお話です。少し大きい子に。



☆ おはなし会のお知らせ

“すばなしの会みみずく”では、すばなしと絵本の読み聞かせを、毎月第3土曜日に行っています。ぜひ、楽しいおはなしを聞きに来てください!

次回は **7月21日(土)・8月18日(土)**
時間 **午後3:00~3:30**
場所 **西部図書館 お話し会のへや**





みみずく通信

No.92
2018.7.21

発行：すばなしの会みみずく
HP：<https://subanashi.jimdo.com/>

☆ 暑さに負けるな！！

暑い夏がやってきました。今年は特に暑いような気がします。暑さになんか、負けてはいられません。楽しいこともたくさん待っているのですからね。そこで、暑さを吹っ飛ばす絵本をたくさん集めてみました。絵本と一緒に、夏を満喫してみたいと思いませんか？



いざ、海へ！



絵本・ なつほうみ

内田麟太郎文、村上康成絵、偕成社

山は、百年ぶり、千年ぶりとも思える暑さです。暑さでフラフラになったツキノワグマは、山の動物たちといざ海へ！ たっぷり涼んで、さあ帰ろうと振り返ると……。

暑い、暑い夏。海でも、プールでも、水に浮かんで涼んでいたい気分ですね。そんな気持ちを盛り上げてくれる絵本です。

絵本・ エルマーとクジラ

テレビッド・マッキー文・絵、きたむらさとし訳、BL出版

ゾウのエルマーとウイルバーは、エルドーおじいちゃんの思い出話を聞いて、自分たちもクジラに会いたくなります。サルたちの力を借りていかだを作り、いざ、川を下って海へ出発。

カラフルなゾウのエルマーと、そのいとこのウイルバーの大冒険のお話。二人は無事、クジラに会えたでしょうか。

科学絵本・ 海

加古里子文・絵、福音館書店

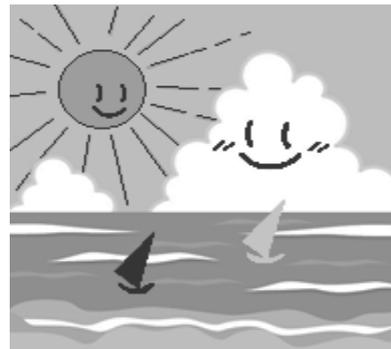
この本は、浅瀬から、だんだんと深くなっていく海について、そこに住む生物や、研究の歴史などを、分かりやすい絵と文章で解説したものです。身近な割には分からないことだらけの海。この本を読んでいると、知らぬ間に、世界一周していますよ。

絵本・ むしむしレストラン

しもだともみ作・絵、教育画劇

仲よし5匹組の虫たちの夢は、たくさんの虫が集まるレストランを開くこと。でも、仲良しのはずなのに、なかなか意見がまとまりません。そこで、5匹が考えたのは……。

いろいろな虫の食事の仕方も分かる絵本。たくさんのお客さんが来てくれる、楽しい、楽しいレストランになるといいですね。



絵本・ ねえ、どれがいい？

ジョン・バーニンガム作、まつかわまゆみ訳、偕成社

家の周りが変わるとしたら、洪水？ 大雪？ ジャングル？ “ねえ、どれがいい？”

“ねえ、どれがいい？”と聞かれて、選べる選択肢は、どれもとんでもないものばかり。突拍子もない発想は、子どもたちの心を引きつけるものばかりです。ワイワイ言いながら、楽しく読める絵本です。



次回は

8月 18日、 9月 15日、
10月 20日

時間
場所

午後 3：00 ~ 3：30
西部図書館 お話し会のへや



☆ まだまだ、あります。こんな本。



絵本・せんたくかあちゃん さとうわきこ作・絵・福音館書店

かあちゃんは、洗濯が大の、大の、大好き。今日も腕まくりをすると、ネコもイヌも、子どもたちまで、家中の物を洗って、庭中に縄を張って干します。そこへ、雷さまが落ちてきて……。

奇抜なアイデアと、細かく描きこまれた絵が楽しい絵本。雷さまとの掛け合いも楽しいですよ。

絵本・ちいさなくも エリック・カール作・もりひさし訳・偕成社

大きな雲たちと一緒に、ゆっくり空を流れていた“ちいさなくも”は、途中ではぐれてしまいます。そこで、“ちいさなくも”は、体をグリーンと大きくして、羊、飛行機、サメなど、いろいろな物に変身してゆき……。

空色の画面いっぱいに変身した、白い雲の絵がシンプルな絵本。子どもの空想の力も広がられますよ。

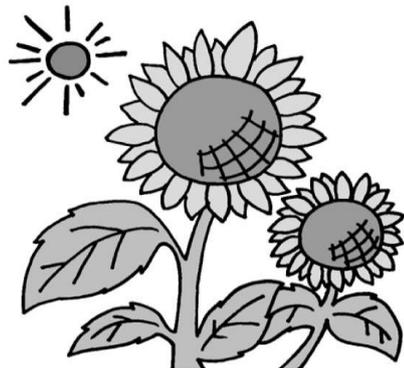
絵本・ほしになったりゅうのきば 君島久子再話・赤羽末吉画・福音館書店

竜の兄弟が大喧嘩をして、天を突き破ってしまいます。そのため、地上の村は雨とひょうに苦しめられることに。そこで、石から生まれた英雄サンとクマ王の末娘白姫は、天を繕いに出かけて行き……。

銀河と星ができた由来を語った中国の昔話の絵本。大型横長の画面に、流れるような線と、美しい色彩で、雄大な世界を描き出しています。

絵本・はなびドーン カスコG・ストーン作・童心社

暗い夜空に、シューツ、パンツ、ドーン。花火です。いろんな音、色、形。大きい、小さい。黄色、赤、緑。丸いの、星形、ハート形。大きな音ともにはじける、きれいな花火。まるで、本当の花火を見ているような楽しさのある、赤ちゃん向け絵本です。



科学絵本・ひまわり 荒井真紀文・絵・金の星社

春蒔いたヒマワリの種は、土の中で静かに成長し、やがて、芽を出します。そして、出てきた小さな芽は、だんだん大きくなって、大きな花を咲かせます。この絵本は、細密な、美しい線画で、ヒマワリの成長の様子や、花の仕組み、種ができる様子などを、分かりやすく解説しています。ヒマワリ観察の助けにもなりますよ。



★ すばなし会のお知らせ

“すばなしの会みみずく”では、すばなしと絵本の読み聞かせを、毎月第3土曜日に行っています。ぜひ、楽しいおはなしを聞きに来て下さい。



次回は	8月 18日、	9月 15日、
	10月 20日	
時間	午後 3:00 ~ 3:30	
場所	西部図書館 お話し会のへや	



☆ 秋、本番！

今年の秋は、少し遅くて、それでも、やっと秋本番という感じになってきましたね。少し散歩をしただけでも、そこかしこに秋が感じられ、おなかもすいてきたりして。そこで、今回は、秋を満喫できる絵本を集めてみました。それと一緒に、少し遅くなってしまいましたが、一昨年亡くなられた、「くまのこウーフ」シリーズの挿絵でおなじみの井上洋介さんの絵本もご紹介します。いろいろな秋を楽しんでみてください。



楽しい秋



絵本・パンどうぞ

彦坂有紀, もりといづみ作, 講談社

あんパン、ジャムパン、クリームパン、……。子どもたちが大好きなパン。そして、“パン どうぞ”で、ちょこっとかじられた、美味しそうなパン。

和紙に、木版の重ね摺りで描かれた絵は、どれも本物以上に美味しそうです。見ていて、パンが食べたくなる絵本ですよ。

絵本・もっともっと おおきなおなべ

寮美千子作, といかや絵, フレーベル館

炊の糍じ、龍いつはいにヤノウを掴んにぬりみくんは、キノコのシチューを作ることにします。味見をしながら、お塩を足したり、お水を足したりしているうちに、お鍋はいっぱいになってしまい……

ほんわかと温かみのある絵本。最後は、とても美味しそうな、楽しいシチューパーティですよ。

絵本・くるみのなかには

たかおゆうこ作, 講談社

“くるみのなかには なにがある？”

揺らしてみると、中には宝物が入っていたり、リスの裁縫箱だったり、小さなおじいさんとおばあさんが住んでいたり……。クルミの中は大きな空想の世界でいっぱいです。たった一つの小さなクルミの実。親子で想像の翼を広げるのも楽しいかもしれませんよ。

絵本・たろうのともだち

村山桂子作, 堀内誠一絵, 福音館書店

ある日、散歩の途中で友達が欲しかったココロギは、ヒヨコに声をかけます。けれども、ヒヨコは機嫌が悪くて、ヒヨコの家来になることに。そして、ヒヨコはネコの、ネコはイヌの家来になり……。最後に‘たろう’はなんと答えたのでしょうか。

リズムカルな文章と、明るい色彩の絵がお話を盛り上げます。



絵本・ホウホウフクロウ

井上洋介作, 福音館書店

闇夜に飛び回るフクロウやミミズク、セミやトンボの世界を、散文詩的文章と、静謐な水墨画で描いた絵本。画面いっぱいに、のびのびと描かれたフクロウやミミズクは、圧倒的な存在感があり、斬新です。2016年に亡くなられた、ナンセンス絵本の名手、井上洋介さんの最後の絵本です。



★ おはなし会のお知らせ

“すばなしの会みみずく”では、すばなしと絵本の読み聞かせを、毎月第3土曜日に行っています。ぜひ、楽しいおはなしを聞きに来てください！

次回は
時間
場所

11月 17日 (土), 12月 15日 (土)
午後 3:00 ~ 3:30
西部図書館 お話し会のへや



みみずく通信

No.94

2018.12.15

発行：すばなしの会みみずく

HP：https://subanashi.jimdo.com/

☆ MERRY CHRISTMAS & HAPPY NEW YEAR!

今年も早いもので、もう終わりの月です。街は、イルミネーションで輝き、人々はせわしく行きかい、今年一年を惜しむ様でもあります。そこで、今回は、ワクワク気分を盛り上げるクリスマスの本と、来年の干支・イノシシの本をご紹介します。お楽しみください。



メリー・クリスマス!



絵本・ふゆがすき

ロイス・レンスキー作、さくまゆみこ訳、あすなろ書房

“ふゆがすき。ゆきがすき。”

で始まるこの絵本には、冬の楽しい出来事がいっぱい詰まっています。ソリ滑りに雪合戦、スケート、そして、なんとといってもクリスマス。プレゼントも待ち遠しいですが、家族そろってのパーティーも楽しみですね。そんな楽しい冬が、リズムカルな文章と可愛らしい絵で描かれた絵本です。

絵本・クリスマスまであと九日

～セシのポサダの日～

マリー・ホール・エッツ&アウロラ・ラバスティダ作、
マリー・ホール・エッツ絵、田辺五十鈴訳、富山房

今年のクリスマス、セシは初めて、ポサダという特別のパーティをしてもらえることになりました。ポサダでは、ピニャタに果物やキャンディーを詰めて庭に吊るし、みんなに割ってもらわなくてはなりません。けれども、セシは、自分が選んだ美しい星の形のピニャタを割られたくなくて……。

クリスマスを待つ子どもの、ワクワクする気持ちを描いた、楽しい絵本です。

絵本・ミシュカ

マリー・コルモンズ、フォードル・ロジャンコフスキー絵、
みつじまちこ訳、新教出版社

こぐまのぬいぐるみ、ミシュカは、クリスマス・イブの朝、ご主人の女の子の家から家出します。夜、雪の森でトナカイに出会ったミシュカは、トナカイを手伝ってクリスマスプレゼントを配ることにしますが……。

読みやすい文章と暖かみのある絵の絵本。少しだけ考えさせられるお話です。

絵本・パディントンのクリスマス

マイケル・ボンド作、R・W・アリー絵、

木坂涼訳、理論社

クリスマスも近いある日、クマのパディントンは、ブラウン家のみんなとデパートのクリスマスイベントに出かけることに。ところが、サンタのプレゼント工場を見ているうちにパディントンがいなくなり……。

愛すべきクマ、パディントンの楽しいお話。大きな子には、福音館書店より読物の本も出ていますよ。



絵本・クリスマスのまえのばん

クレメント・ムア詩、ターシャ・テューター絵、

中村妙子訳、偕成社

クリスマスの前の晩、父さんの見たものは……。

サンタクロースのイメージを定着させたと言われる19世紀の詩に、美しい絵がつけられました。細部まで描きこまれた絵は、サンタの表情までも豊かで、クリスマスの楽しい気分を盛り上げてくれます。じっくり見たくなる絵本です。



次回は
時間
場所

2019年 1月 19日、 2月 16日
午後 3:00 ~ 3:30
西部図書館 お話し会のへや



あけましておめでとうございます

☆ 2019年の干支は猪(いのしし)です。そこで、イノシシの絵本と、新年を迎える絵本をご紹介します。新しい年、のんびり読書でもいかがでしょうか。

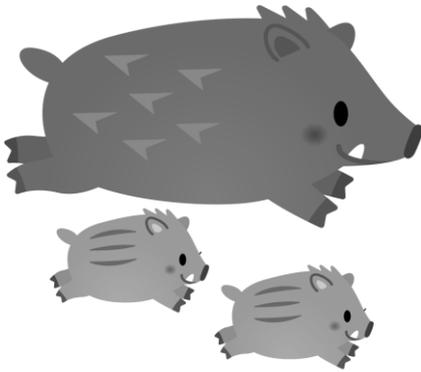


絵本・もうすぐおしょうがつ

西村繁男作・福音館書店

もうすぐお正月です。ひろくとゆうちゃんは、お休みを利用して、家族でおじいさん、おばあさんの家へやってきました。大掃除をしたり、お餅をついたり、お正月の準備は大変です。

お正月の準備の様子や、心待ちにする気持ちが、細やかで、丁寧な絵で描かれた楽しい絵本です。



絵本・おばあちゃんのおせち

野村たかあき作・佼成出版社

あと四日で今年も終わりです。おばあちゃんはお節料理の準備をはじめます。今年は、きりちゃんも、おばあちゃんを手伝って、お節料理を作ることに。

おばあちゃんが作る美味しいお節料理の作り方を、骨太な木版画で描いた絵本。忙しい年の暮れのにぎわいも楽しそうですよ。

絵本・まゆとうりんこ

富安陽子文・降矢なな絵・福音館書店

ある日、やまんばの娘まゆは、林の中で迷子になっている小さなうりんこ坊やに出会います。そこで、まゆは、うりんこ坊やのお母さんが見つかるまで、お母さんの代わりになって、いろいろお世話をしてあげることに。

可愛くて、元気なやまんばの娘まゆが大活躍するお話。それでも、最後はやっぱり、お母さんが一番みたいです。

絵本・トンでもない!

ヴェルナー・フェルバー文・バーバラ・モスマン絵・那須田淳・木本栄訳・評論社

ある日、イノシシくんが住んでいる小さな森に、ピンク色した変な動物がやってきます。キツネくんは、それは、イノシシくんの親戚のブタだと言いますが、イノシシくんは納得がいきません。そこで、後をつけて、観察することにしますが……。ちょっとしたきっかけさえあれば、友達になるのなんか簡単なものかもしれませんね。

科学絵本・いのしし

前川貴行写真・文・アリス館

山に住むイノシシの姿を求めて、“ぼく”は山道を登って行きます。そこで出会ったイノシシの親子を観察することで、“ぼく”は何かを悟ります。愛嬌ある小さなウリ坊たち、それに対して厳しい子育てをする母親、老イノシシの生きる姿を見ることで、その意味や自然のおきてを見つめることができます。

★ すばなし会のお知らせ

“すばなしの会みみずく”では、すばなしと絵本の読み聞かせを、毎月第3土曜日に行っています。ぜひ、楽しいおはなしを聞きに来て下さい。

次回は
時間
場所

2019年 1月 19日、 2月 16日
午後 3:00 ~ 3:30
西部図書館 お話し会のへや





☆ 雪やこんこ♪

年明けから寒い日が続いていますね。暮れの頃には、今年は雪を見ないかも……、なんて思っていました。やっぱり今年も雪が少しですが積りました。そこで、今回は、寒さも吹っ飛ばすような雪の絵本と、季節の絵本を少しだけご紹介します。キラキラと幻想的な世界、ホカホカと暖かい世界両方をお楽しみ下さい。



雪、時々…



絵本・山のおふろ

村上康成作・絵、徳間書店

ある日、お兄ちゃんと裏山へ散歩に来た女の子は、雪の中で動かなくなっているトガリネズミを助けます。元気になったトガリネズミの後を追いかけていくと、そこには……。

柔らかで、温かい絵の楽しい絵本。子どもにしか出会えない世界があるのかもしれないね。開くと倍の大きさになるワイドページ付きです。

絵本・こうさぎと4ほんのマフラー

わたりむつこ作、でくねいく絵、のら書店

おばあちゃんから手編みのマフラーをもらった4匹のこうさぎ兄弟は、ある日、新しいマフラーを着けて、雪の森へ遊びに出かけていきますが…。

温かくて、優しいお話と、かわいらしい絵の絵本。幻想的な場面も美しいお話です。

絵本・せん

スージー・リー作、岩波書店

真っ白な紙の上に一本の鉛筆の線。そして、その先には、スケート靴をはいた、赤い帽子の女の子。女の子が軽やかに線を描いて滑り始めると、そこは、真っ白な氷の上に早変わりします。

のびのびと描かれた、美しい鉛筆画の絵本。ほんの少し入った色も印象的な文字のない絵本です。

絵本・チョコレートパン

長新木作、福音館書店

あるところに、チョコレートの池がありました。そこへパンがやって来て、池につかりました。はい、チョコレートパンの出来上がり。すると、今度は、ゾウが、車が、と次々やって来て……。

コミカルな絵のナンセンス絵本。次に何が来るのか楽しみです。小さな子にもどうぞ。



絵本・ふくほうち おにもうち

内田麟太郎作、山本孝絵、岩崎書店

雪の降る節分の夜、男が一人で留守番をしていると、外から誰かの泣く声が聞こえてきます。男が戸を開けてみると、そこにいたのは鬼たちでした。家に招き入れて、宴会をしていると、そこにやって来たのは……。

宴会の場面も楽しそうで笑いを誘う、民話風絵本です。

☆ おはなし会のお知らせ

“すばなしの会みみずく”では、すばなしと絵本の読み聞かせを、毎月第3土曜日に行っています。ぜひ、楽しいおはなしを聞きに来てください！

次回は
時間
場所

3月16日(土)、4月20日(土)
午後3:00～3:30
西部図書館 お話し会のへや